

抗 HIV 薬予防服用説明書

針刺し事故などで HIV 曝露血液等に曝露した場合の感染のリスクは、B 型・C 型肝炎と比較してかなり低く、B 型肝炎の 1/100、C 型肝炎の 1/10 程度で、針刺し事故においては平均 0.3%、粘膜の曝露においては平均 0.09%程度です。また、感染直後に AZT を服用することで、そのリスクを 79%低下させると言われています。そして、現在行われている抗 HIV 薬による多剤併用療法を行うことで、曝露後の予防効果はさらに高まると考えられています。

HIV 曝露血液等の曝露後には抗 HIV 薬による予防服用を開始することとなります。(準備されている薬剤は協力病院によって異なることがあります。) 予防服用期間については、通常 4 週間の継続服用が必要と考えられています。

推奨される選択薬の組み合わせと、各薬剤の副作用については下記のとおりです。感染を予防する利益と副作用による不利益を考え合わせた上で、予防服用が必要と判断された場合には、少しでも早く内服を開始することをお勧めします。

予防服薬に用いる薬剤はキードラッグとバックボーンから 1 つずつ選択する。

【推奨選択】

キードラッグ

バックボーン

RAL (アイセントレス) + TDF/FTC (ツルバダ)

【代替選択】

内服中の常用薬との相互作用、投与後の副作用等にて推奨薬剤のいずれか、あるいは両方が使用できない場合、代替選択の HIV 薬に変更する場合がある。

以下に代替選択として考えられる主な薬剤をあげる。

RAL (アイセントレス) の代替薬剤 :

- ・ DTG(テビケイ)
- ・ DRV(プリジスタナイーブ) + RTV(ノービア)
- ・ PCX(プレジコビックス)
- ・ LPV/RTV(カレトラ)
- ・ ATV(レイアタッツ) + RTV (ノービア)

TDF/FTC (ツルバダ) の代替薬剤 :

- ・ TAF/FTC(デシコビ HT、デシコビ LT)
- ・ ABC/3TC(エプジコム)

キードラッグ

RAL (アイセントレス)

or

・ DTG(テビケイ)

or

・ DRV(プリジスタナイーブ)+RTV(ノービア)

or

・ PCX(プレジコビックス)

or

・ LPV/RTV(カレトラ)

or

・ ATV(レイアタッツ)+RTV (ノービア)

+

バックボーン

TDF/FTC(ツルバダ)

or

・ TAF/FTC(デシコビ HT、 デシコビ LT)※

or

・ ABC/3TC(エプジコム)

※上記のうち、アイセントレス、テビケイと併用する場合には、デジコビ HT を選択し、リトナビルを含む（プリジスタナイーブ+ノービア、カレトラ、レイアタッツ+ノービア）場合もしくはコビシスタットを含む（プレジコビックス）場合には、デシコビ LT を選択する。

各薬剤の服用方法と副作用

代表的な副作用のみを掲載（詳細は添付文書参照）

【推奨選択】

<RAL> アイセントレス（薄橙色の錠剤）〔通常 1 回 1 錠 1 日 2 回服用〕

副作用：嘔気などの自覚的副作用は比較的少ない。

従来の抗 HIV 薬と比較しても副作用や薬物相互作用が少ない。

<TDF/FTC> ツルバダ（青色の錠剤）〔1 回 1 錠 1 日 1 回服用〕

TDF と FTC の合剤である。副作用は各薬剤説明を参照。

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

<TDF> ビリアード（水色の錠剤）〔1 回 1 錠 1 日 1 回食後服用〕

曝露事象発生後に食事不可であれば早期内服を優先。

2 回目以降は食後に内服する。

副作用：腹部膨満感、腎機能障害

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

<FTC> エムトリバ（青と白のカプセル）〔1 回 1 カプセル 1 日 1 回服用〕

副作用：嘔気などの自覚的副作用は比較的少ない。

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

【代替選択】

<DTG> テビケイ（黄色の錠剤）〔通常 1 回 1 錠 1 日 1 回服用〕

インテグラーゼ阻害薬に対する耐性を有する場合、1 回 1 錠 1 日 2 回を内服する。食事の有無にかかわらず服薬が可能である。

副作用：悪心、下痢、頭痛

<DRV> プリジスタナイーブ（暗赤色の錠剤）

〔通常 1 回 2 錠(800mg) 1 日 1 回食後服用〕

*1 錠 400mg の錠剤（薄橙色の錠剤）もある（1 回 2 錠 1 日 1 回食後服用）

必ず RTV(ノービア錠)1 錠と併用する

曝露事象発生後に食事不可であれば早期内服を優先。

2 回目以降は食後に内服する。

副作用：発疹、嘔気、下痢など

<RTV> ノービア（白色の錠剤）〔1回1錠1日1回服用〕

DRV や代替選択の ATV を投与する際に、効果を高めるために併用する。
副作用：嘔気、下痢など

<PCX> プレジコビックス（ピンク色の錠剤）〔1回1錠1日1回服用〕

DRV と RTV の代用 COBI の合剤である。
副作用：発疹、嘔気、下痢など

<LPV/RTV> カレトラ（黄色の錠剤）〔通常1回2錠1日2回服用〕

1日1回の内服方法も承認された。（1回4錠1日1回服用）
副作用：嘔気、下痢、発疹、肝機能障害、高脂血症など

<ATV> レイアタツツ※（青色のカプセル）〔1回2カプセル1日1回服用〕

本剤の溶解には胃酸の存在が重要であり、空腹時における内服では血中濃度が大きく低下してしまう。

また、制酸剤服用中の場合には血中濃度が低下するため使用できない。

副作用：発疹、嘔気、黄疸、腎結石、リポジストロフィー

<TAF/FTC> デシコビ（灰色または青色の錠剤）〔1回1錠1日1回服用〕

デシコビ配合錠 LT（灰色）とデシコビ配合錠 HT（青色）がある。

一錠中テノホビル アラフェナミド量はデシコビ配合錠 LT で 10mg、
デシコビ配合錠 HT で 25mg である。

リトナビル又はコビシスタットと併用する場合はデシコビ配合錠 LT を用いる。

副作用：悪心、下痢、頭痛

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

<ABC/3TC> エプジコム（橙色の錠剤）〔1回1錠1日1回服用〕

ABC には過敏症の問題があり、米国では本剤投与前には HLA-B5701 の測定を行うこととなっている。

しかし、日本人には HLA-B5701 保有者は少ないといわれており、我が国のガイドラインでは投与前の測定は義務付けられていない。

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

副作用：発疹、過敏症

※食事中、または食直後に服用する薬剤

抗 HIV 薬予防服用同意書および依頼書

<取扱注意>

<抗 HIV 薬予防服用同意書>

私は、HIV 曝露血液等曝露後の抗 HIV 薬予防服用における利益と不利益について説明を受け、十分に理解しました。

私は、自らの意志により予防服用を希望します。

エイズ診療協力病院

病院長殿

年 月 日

本人署名

<抗 HIV 薬予防投与依頼書>

被曝露者	氏名	生年月日	年	月	日
	性別（男・女）	妊娠（有・無）			
	現在服用中の薬剤（				）
事故状況	発生日時	年	月	日	時 分
	事故内容	・ 針刺し	・ 切創	・ 粘膜曝露	・ 皮膚曝露
	原因患者の病状	・ HIV 抗体陽性	・ HIV 抗体陽性疑		
	（原因：				）

上記の者は、HIV 感染のおそれがあり、予防服用についての説明に同意があったので、抗 HIV 薬の投与を依頼する。

エイズ診療協力病院

病院長殿

年 月 日 時 分

医療機関所在地

医療機関名

連絡先

担当医署名